

第9章 文化財

- 第1節 文化財の保存と活用
- 第2節 保存活用の方針
- 第3節 資料館
- 第4節 市史編さん

第1節 文化財の保存と活用

1 文化財の現状と取り組み

私たちの住むうるま市は天願断層を境に本島北部と中南部の自然的な特徴があり、県内最長の海岸線と本島最大の干潟をもっています。その環境の暮らしは山と川と湿地、そして海とともに生業を営むことによって様々な祭りや芸能などを育んできました。少なくとも今からおよそ9,000年前には人々が土器などを使い、狩猟採集や農耕、交易などを通して生活を豊かにしてきました。今日の私たちの生活は、そうした先人から受け継いだ貴重な歴史文化遺産を基盤として成り立っています。

市の代表的な文化財は、世界遺産勝連城跡をはじめとして国指定文化財4件、国登録文化財1件、県指定文化財7件、県選択文化財1件、市指定文化財が44件あります。その多様な文化財を俯瞰し、総合的・一時的に保存・活用することは地域の特徴を活かした地域振興に貢献するとともに、確実な文化財の継承につなげるものです。これからの施策は住民・民間団体・文化財課・庁内関係部局などが地域総がかりで文化財を守り、活かし、伝える体制の構築を図り、その文化財の存続につなげていくことが期待されます。その文化の継承に努めるため、以下の施策に取り組みます。

1. 自然遺産・歴史文化遺産の活用（地域活性化）

本市の歴史文化遺産を保存し、その整備を進め、市民の歴史と文化の学習に寄与することで、郷土に愛着と誇りを育んでいきます。また、歴史文化遺産を活用することにより、地域の活性化に結びつけ、そして経済へ波及させるべく促進します。

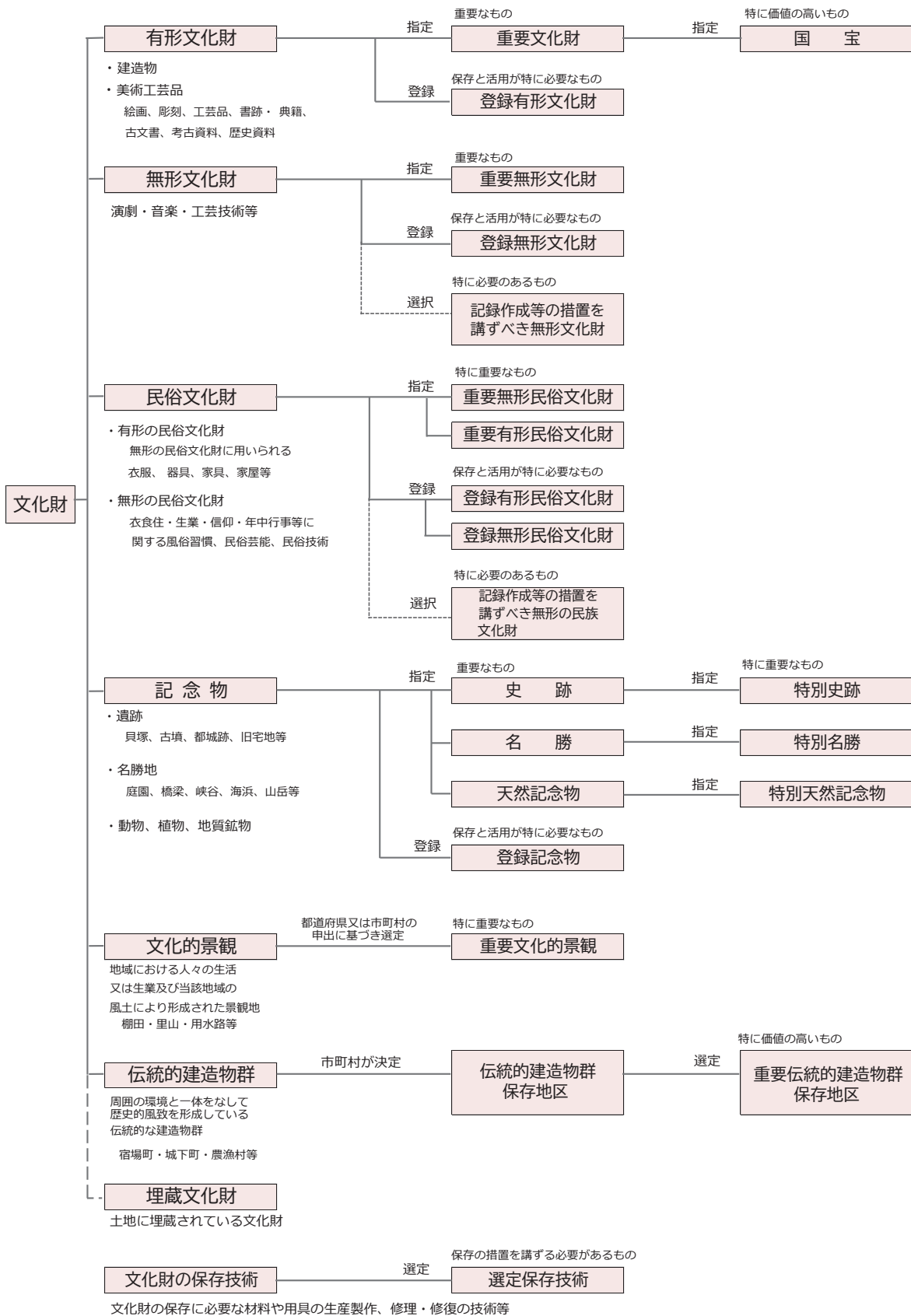
2. 世界文化遺産「勝連城跡」の保全と復元整備ならびに生涯学習・学校教育の環境整備

世界文化遺産の勝連城跡については、歴史的環境の保全を図ります。また、城壁や城門などの復元整備を進めるとともに、あまわりパーク等を活用しながら、歴史学習のできる環境の整備を進めます。さらに、各種講座の開催や学校教育における歴史学習の推進を図るとともに、観光振興や地域活性化など、様々な場面で積極的な活用を進めていきます。

3. 自然遺産・歴史文化遺産の調査と新たな文化財の指定

市内各地に残るさまざまな自然遺産ならびに歴史文化遺産の保存及びその調査を継続的に進め、市民協働による登録とその保存を整えます。それらの成果をもとに新たな文化財の指定を追加し、本市の魅力づくりへ取り組みます。

2 文化財の体系図



3 指定文化財一覧

■ 国指定文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	史 跡	伊 波 貝 塚	昭和47年5月15日	
2	〃	安 慶 名 城 跡	〃	
3	〃	勝 連 城 跡	〃	
4	〃	仲 原 遺 跡	昭和61年8月16日	

■ 国登録記念物

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	史 跡	平敷屋製糖工場跡	平成27年1月26日	

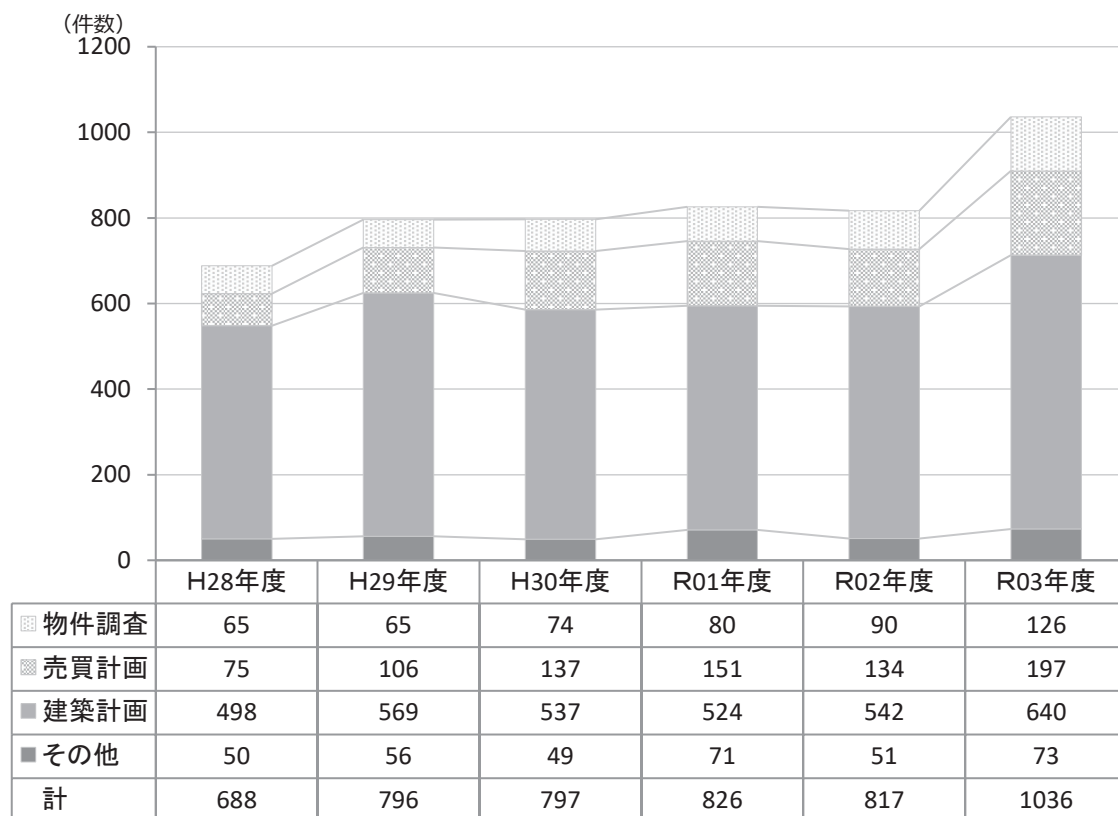
■ 県指定文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	有形文化財	三 線 翁 長 開 鐘	昭和30年5月23日	
2	〃	三 線 真 壁 型	平成6年3月15日	
3	〃	勝連間切南風原村文書	昭和52年7月11日	
4	史 跡	平 安 名 貝 塚	昭和31年10月19日	
5	〃	伊 波 城 跡	昭和36年6月15日	
6	天然記念物	チ ャ ー ン	平成3年1月16日	
7	選択文化財	津堅島の唐踊り	昭和53年3月24日	

■ 市指定文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	有形民俗文化財	東恩納平良家葬祭	昭和56年10月15日	石川市第1号
2	〃	伊波金細工鍛冶道	〃	〃 2号
3	建造物	嘉手苺観音堂	昭和59年6月12日	〃 3号
4	有形民俗文化財	伊波メンスー織道具一式	昭和63年11月15日	〃 4号
5	無形民俗文化財	伊波メンスー織	昭和63年11月15日	〃 4号
6	史 跡	平敷屋タキノー	平成2年3月26日	勝連町第1号
7	有形民	南風原の村獅子	〃	〃 2号
8	〃	伊波ヌール墓	平成6年3月4日	石川市第5号
9	工芸品	三線真壁型(大)	〃	〃 6号
10	〃	三線平仲知念型(大型)	〃	〃 7号
11	〃	三線鴨口与那型(中型)	〃	〃 8号
12	有形民	地頭代火の神	平成6年3月31日	勝連町第4号
13	史 跡	アマミチューの墓	〃	〃 5号
14	有形民	シルミチュー	〃	〃 6号
15	建造物	ヤンガー	平成7年6月14日	与那城町第2号
16	名 勝	犬名河(インナガー)	〃	〃 3号
17	建造物	ガ ー ラ 缸	〃	〃 4号
18	有形民	宮城御殿(ナーグスクウダウン)	〃	〃 5号
19	〃	与佐次川(ユサチガー)	〃	〃 6号
20	史 跡	平安座西グスク	〃	〃 7号
21	天然記念物(植物)	クボウグスクの植物群落	平成9年4月23日	勝連町第7号
22	有形民	中 の 御 嶽	〃	〃 8号
23	史 跡	ヤマトンチュウ	〃	〃 9号
24	〃	ワ イ ト ウ イ	〃	〃 10号
25	無形民	南風原の獅子舞	平成11年3月10日	〃 11号
26	〃	平安名のウムイ・クエーナ	〃	〃 12号
27	〃	平敷屋エイサー	〃	〃 13号
28	〃	天 願 獅 子 舞	平成11年7月15日	具志川市第1号
29	〃	田場ティンペー	〃	〃 2号
30	建造物	吉 本 家	平成12年11月7日	勝連町第14号
31	史跡(戦争遺跡)	新川・クボウグスク周辺の陣地壕群	平成16年3月3日	〃 15号
32	史 跡	兼筒段ジョーミーチャー墓	平成17年2月16日	具志川市第3号
33	〃	田 場 ガ ー	〃	〃 4号
34	〃	大 田 坂	〃	〃 5号
35	〃	沖縄諮詢会堂跡	平成17年3月1日	石川市第9号
36	〃	東恩納博物館跡	〃	〃 10号
37	〃	石川部落事務所	〃	〃 11号
38	無形民	越来治喜(マールン船の建造技術)	平成17年3月4日	与那城町第8号
39	無形民俗(民俗芸能)	宮城ウシデーク	〃	〃 9号
40	史 跡	藪地洞穴遺跡	平成29年3月17日	うるま市第39号
41	無形民	うるま市の闘牛	平成30年7月13日	〃 40号
42	史 跡	宮城島のヒータチ(火立て)跡	平成30年7月13日	〃 41号
43	無形民	平安座のサングワチャー	令和2年4月13日	〃 42号
44	有形民	上江洲のウフガー	令和2年4月13日	〃 43号

4 埋蔵文化財包蔵地等確認依頼統計表



令和4年3月31日現在

第2節 保存活用の方針

1. 守り育む

- 歴史文化遺産の把握調査などの実施
- 指定文化財等の保存推進
- 指定文化財の修理

2. 深め活かす

- 案内板・解説版・標柱の設置や文化財リーフレットの作成などによる周知活動
- 無形民俗文化財などの継承団体による発表の場の支援
- うるま市史跡ガイドの会を活用した歴史と文化を学べるガイドの育成と推進
- 資料の調査研究・収集・保管とその企画展等の推進

3. 体制づくり

- 自然遺産および歴史文化遺産を重点テーマとした学校教育・生涯学習の連携の推進
- 自然遺産および歴史文化遺産の魅力を市内外へ発信
- 保存活用に関する一体的な取組を推進するため自治会・関係団体・専門家・庁内部局との連携・協力体制づくり



「第1回うるま市ウシデーク交流鑑賞会」
平成30年度にうるま市史跡ガイドの会等により開催。

4. 勝連城跡の入城者数

単位(人)

年	暦年 (1月～12月)	年度 (4月～3月)	県内	県外	外国人	備 考
2000年(平成12年)	36,000	40,500				県内外(外国人含む)
2001年(平成13年)	54,000	54,000				〃
2002年(平成14年)	54,000	54,000				〃
2003年(平成15年)	54,000	54,000				〃
2004年(平成16年)	54,000	54,000				〃
2005年(平成17年)	54,000	54,000				〃
2006年(平成18年)	83,957	99,075	35,276	58,799		県外に外国人含む
2007年(平成19年)	85,210	82,445	23,426	59,019		〃
2008年(平成20年)	94,061	96,089	23,686	72,401		〃
2009年(平成21年)	101,242	101,090	27,493	73,597		〃
2010年(平成22年)	102,919	99,484	26,114	73,370		〃
2011年(平成23年)	90,827	104,091	21,264	82,827		〃
2012年(平成24年)	132,858	144,988	24,994	119,994		〃
2013年(平成25年)	169,890	175,211	37,104	138,107		〃
2014年(平成26年)	162,770	156,052	30,393	125,659		〃
2015年(平成27年)	155,452	148,020	27,743	120,277		〃
2016年(平成28年)	161,685	171,878	26,389	126,731	18,758	
2017年(平成29年)	174,421	172,566	23,686	113,479	35,401	
2018年(平成30年)	184,646	183,881	24,798	111,630	47,453	200万人達成(1月9日)
2019年(平成31年)	166,954	162,942	21,868	102,820	38,254	令和元年
2020年(令和2年)	87,621	64,471	20,786	38,600	5,085	
2021年(令和3年)	66,483	59,238	26,396	30,163	2,079	
合 計	2,326,996	2,332,021	421,416	1,447,473	147,030	

* 世界遺産登録前(2000年)は、1日100人×30日×12ヶ月で計算しています。

* 2000年の4～12月は、3,000人×9ヶ月=27,000人。その年度の1～3月は、4,500人×3ヵ月=13,500人。

* 世界遺産登録後から平成18年までは、1日150人×30日×12ヶ月で計算しています。

* 平成18年5月より実数を集計している。

第3節 資料館

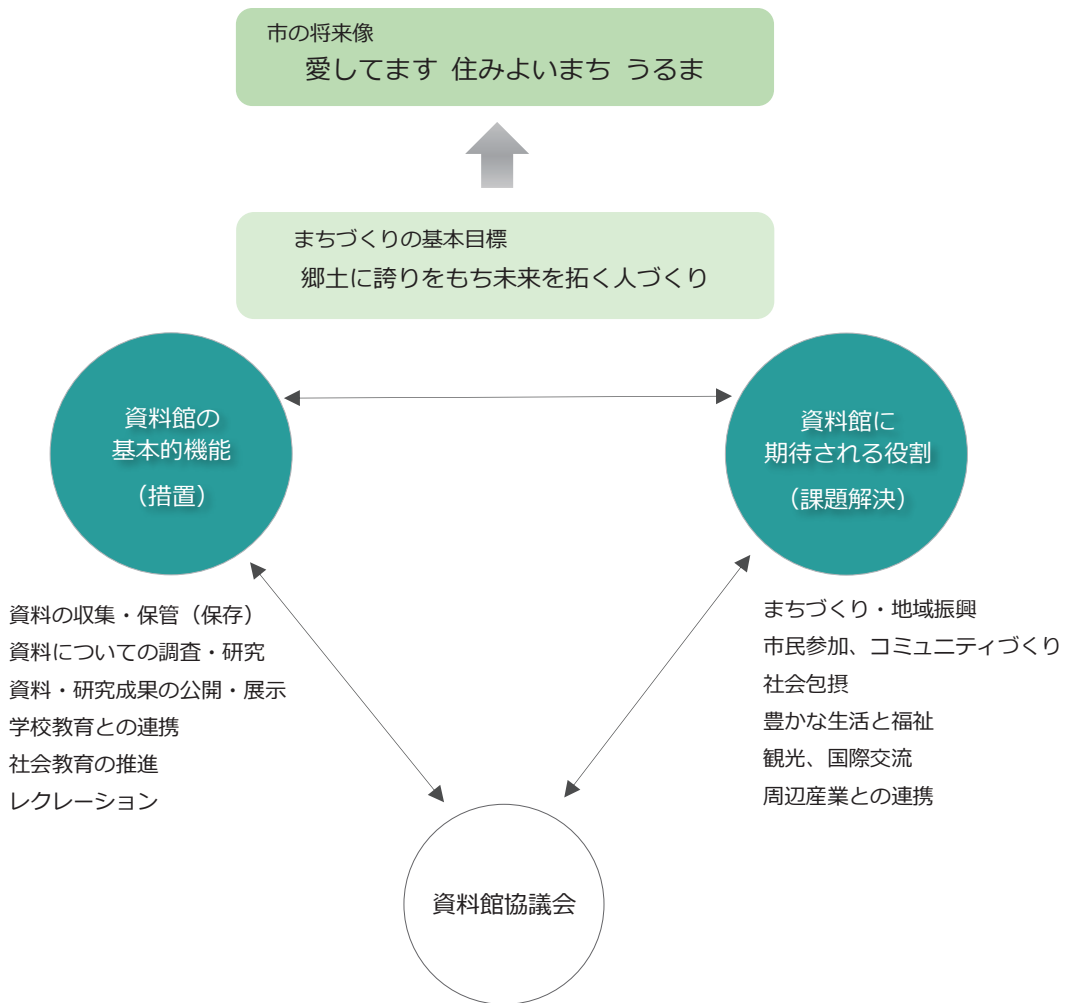
1 資料館の機能と社会構造

1. 目的

社会教育法に基づき、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もって国民の教育、学術及び文化の発展に寄与する（博物館法第1条）。

2. 設置

文化財及び市とその周辺地域にまつわる歴史民俗に関する資料を収集、研究、保存、展示し、市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与する（うるま市立資料館条例第1条）。



2 うるま市立資料館

1. 石川歴史民俗資料館



Google Maps



Instagram

所在地	石川曙二丁目1番55号(石川図書館複合) TEL:098-965-3866
開館	1982(昭和57)年4月1日 旧館 1992(平成4)年7月22日 新館
竣工	1992(平成4)年1月30日
面積	2階 1,094.485㎡ 展示室・事務室・収蔵庫等 3階 162.164㎡ 収蔵庫・変電室等
駐車場	地下駐車場 20台(無料)
開館時間	午前9時～午後5時(最終入館午後4時30分)
入館料	無料
休館日	毎週月曜日(月曜が祝日の場合その翌日) 年末年始(12月29日～1月3日) 祝日(慰霊の日を含む)の翌日

展示テーマ

- 終戦直後の政治・経済・教育・文化の発祥の地 石川
- 伊波メンサー織

展示内容

- ① 収容所の資料
- ② 終戦直後の生活の様子
- ③ 製糖用窯跡の復元
- ④ 南風原村文書
- ⑤ 宮森小学校ジェット機墜落事故



城前小学校6年生平和学習



うるま市教職員初任者研修



2. 与那城歴史民俗資料館



Google Maps



Instagram

所在地	与那城中央1番地（与那城出張所複合） TEL:098-978-3149
開館	1995（平成7）年3月31日
竣工	1994（平成6）年2月21日
面積	1階 447.8㎡ 展示室・市民窓口等 2階 372.2㎡ 資料室・講堂等
駐車場	15台（無料）
開館時間	午前9時～午後5時（最終入館午後4時30分）
入館料	無料
休館日	土・日・祝日（慰霊の日を含む） 年末年始（12月29日～1月3日）

展示テーマ

- 遺跡を発掘調査した出土物
- 暮らしの道具

展示内容

- ① グスク時代
- ② 与那城地区の民具



勝連城跡世界遺産登録20周年記念展の見学の様子



平敷屋小学校の見学の様子



一般見学の様子



3. 海の文化資料館



Google Maps



Blog

所在地	与那城屋平 4 番地（海の駅あやはし館複合） TEL:098-978-8831
開館	2003（平成 15）年 4 月 27 日
竣工	2002（平成 14）年 12 月 20 日
面積	2 階 833.82 m ² 展示場・広域交流会議室等 1 階 1,140.86 m ² 特産販売所等
駐車場	300 台（無料）
開館時間	午前 9 時～午後 5 時 （最終入館午後 4 時 30 分）
入館料	無料
休館日	毎週月曜日（月曜が祝日の場合その翌日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 祝日（慰霊の日を含む）の翌日

館の任務

- 海とくらしとともに生きる資料館
- まちに生き、市民とつくる、参画交流型の資料館
- 地域の民間伝承を未来につなげ、社会に開く資料館
- 子どもたちとともに、成長する資料館

展示テーマ

- 海のくらしのうるま

展示内容

- ① 沖縄の木造船と港
- ② マーラン船と越來家の船大工
- ③ 干潟と海中道路
- ④ 仲原貝類コレクション



船の模型づくり体験教室



野外講座 干潟の散策



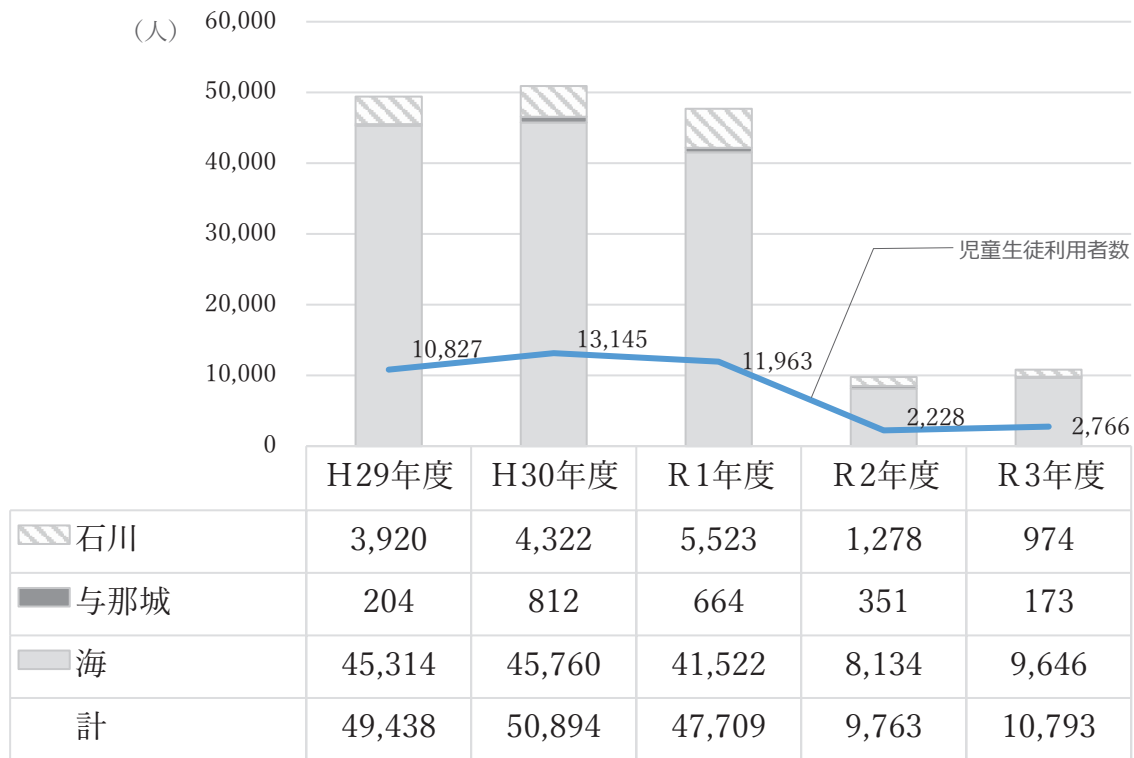
沖縄アミックスインターナショナル 小学校 3 年生見学



野外講座 ナイトツアー（野鳥の森公園）



3 入館者の動向



児童生徒利用者数の内訳

資料館	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
石川	1,843	2,660	2,794	356	312
与那城	37	331	279	17	54
海	8,947	10,154	8,890	1,855	2,400
計	10,827	13,145	11,963	2,228	2,766

- 石川歴史民俗資料館（石川図書館と併設） 石川地区：24,293 人居住（R4年4月現在）
- 与那城歴史民俗資料館（与那城庁舎と隣接） 勝連半島：24,369 人居住（R4年4月現在）
- 海の文化資料館（海の駅あやはし館と併設） " " "

※令和4年5月1日現在本市児童・生徒数（幼稚園児～中学校）：12,606 人在学

※与那城歴史民俗資料館は、与那城出張所市民窓口利用に伴う改修工事及び館内展示替え（臨時休館）により、H29年7月1日～H30年3月31日まで休館。

第4節 市史編さん

1 うるま市具志川市史編さん概要

1. 目的

先史時代から現代にいたるまでの歴史という壮大なドラマの中で、旧具志川市がどのように動き、どう変遷してきたのか、それぞれの時代を生きた人びとが、どのようにかかわってきたのかを、総合的に叙述することを目的とする。

2. 基本方針

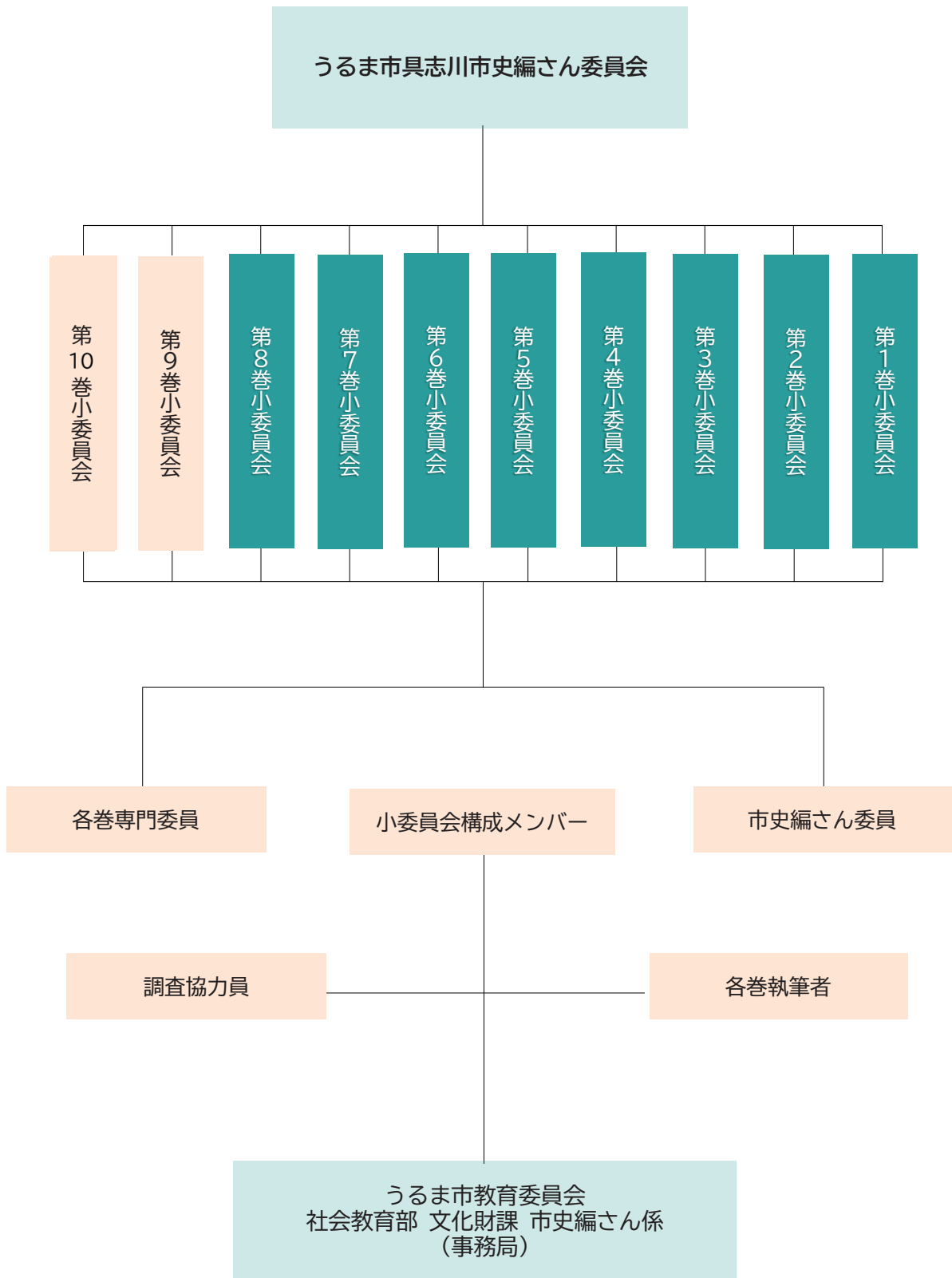
- ① 徹底的な史資料調査のもとに、科学的で実証的な編集を志向し、現在の地域史研究の水準を踏まえた学問的遺産として、後世に残せる価値あるものとする。
- ② 市民の郷土意識を啓発するとともに、文化的発展に寄与することを目標とし、市民の多面的な参加を得て史資料収集を行い、真に市民による市民のための親しみやすい地域史づくりを基本とする。

3. 巻別構成内容及び刊行年

令和4年4月現在

本 編			別 巻
巻 数	編 構 成	発行年	
第1巻	新聞集成<明治編>	平成3年	学校教材
第2巻	新聞集成<大正・昭和戦前編>	平成5年	①『ふるさとの伝え話』
第3巻	民話編 上<伝説>	平成9年	(平成6年)
	民話編 下<昔話>	平成12年	② 紙芝居(平成10年)
第4巻	移民・出稼ぎ<論考編><資料編><証言編>	平成14年	『田場大工』
第5巻	戦争編<戦時記録><戦時体験Ⅰ・Ⅱ>	平成17年	『バキムン退治』
第6巻	教育編	平成18年	
第7巻	新聞集成<昭和戦後編>	平成20年	
第8巻	民俗編	平成23年	
第9巻	文献・統計編		
第10巻	通史編		

4. うるま市具志川市史編さん委員会組織図



2 市町村史刊行物一覧

具志川

具志川市史

No.	書 籍 名	発行年
1	具志川市誌	昭和45年
2	具志川市史 第一巻 新聞集成 明治編	平成 3年
3	具志川市史 第二巻 新聞集成 大正・昭和戦前編	平成 5年
4	具志川市史 第三巻 民話編 上 伝説	平成 9年
5	具志川市史 第三巻 民話編 下 昔話	平成12年
6	具志川市史 第四巻 移民・出稼ぎ編 (論考編・証言編・資料編) 3冊セット ※付録 具志川市史編集資料13 写真集 南洋群島の製糖とくらし	平成14年
7	具志川市史 第五巻 戦争編 (戦時記録・戦時体験 I・II) 3冊セット	平成17年
8	具志川市史 第六巻 教育編 ※付録CD	平成18年
9	具志川市史 第七巻 新聞集成 戦後編 (社会編・政治経済編・教育文化スポーツ編) 3冊 ※付録 具志川市史編集資料14 志喜屋孝信関係新聞記事集成	平成20年
10	具志川市史 第八巻 民俗編	平成23年
11	具志川市史 別 巻 民話集 『ふるさとの伝え話』	平成 6年
12	具志川市史 別 巻 紙芝居 『田場大工』 『バキムン退治』	平成10年

具志川市史だより

No.	書 籍 名	発行年
1	具志川市史だより 創刊号	平成 3年
2	具志川市史だより 第2号	平成 3年
3	具志川市史だより 第3号	平成 4年
4	具志川市史だより 第4・5合併号	平成 5年
5	具志川市史だより 第6・7合併号	平成 6年
6	具志川市史だより 第8・9合併号	平成 7年
7	具志川市史だより 第10・11合併号	平成 8年
8	具志川市史だより 第12号	平成 9年
9	具志川市史だより 第13号	平成10年
10	具志川市史だより 第14号	平成11年
11	具志川市史だより 第15号	平成12年
12	具志川市史だより 第16号	平成13年
13	具志川市史だより 第17号	平成14年
14	具志川市史だより 第18号	平成15年

具志川市史編集資料

No.	書 籍 名		発行年
1	具志川市史編集 資料 1	証言記録集《明治編》明治の具志川を語る	平成 3年
2	具志川市史編集 資料 2	証言記録集《大正・昭和戦前編》 大正・昭和戦前の具志川を語る	平成 5年
3	具志川市史編集 資料 3	具志川小学校創立五十周年記念誌（復刻版）	平成 5年
4	具志川市史編集 資料 4	山城文盛寄贈資料 生まれじまの記	平成 5年
5	具志川市史編集 資料 5	又吉倫祥・武二郎・淳関係資料 海外に雄飛した三兄弟の軌跡	平成 6年
6	具志川市史編集 資料 6	防衛庁防衛研修所図書館蔵 防衛庁資料目録	平成 7年
7	具志川市史編集 資料 7	具志川市の慰霊塔	平成 7年
8	具志川市史編集 資料 9	アルゼンチン・ウルグアイ移民資料 前堂盛松日記〈上〉	平成 8年
9	具志川市史編集 資料10	アルゼンチン・ウルグアイ移民資料 前堂盛松日記〈下〉	平成10年
10	具志川市史編集 資料11	一般疎開 安村静日記 －字天願から宮崎へ－	平成10年
11	具志川市史編集 資料12	移民・出稼ぎ関係新聞記事集成 －アジア・太平洋地域－	平成14年
12	具志川市史編集 資料13	写真集 南洋群島の製糖とくらし －沖山策写真アルバムより－	平成14年
13	具志川市史編集 資料14	具志川市史編集資料14 志喜屋孝信関係新聞記事集 成	平成20年
14	絵はがき 4 枚セット		平成 6年
15	ふるさとの写真帳		平成 3年

石川

No.	書 籍 名		発行年
1	石川市誌		昭和51年
2	石川市史（改訂）		昭和63年
3	いしかわの民話 伝説		昭和60年
4	いしかわの民話 昔話		昭和60年

勝連

No.	書 籍 名		発行年
1	勝連村誌		昭和41年
2	勝連町史二		昭和59年
3	かつれんの民話 本島篇		平成 3年
4	かつれんの民話 離島篇		平成 2年

与那城

No.	書 籍 名		発行年
1	与那城村史		昭和55年
2	よなぐすくの民話		平成元年